

〔問題1〕

解答例

外国人に生活空間としての異日常やジャパニアリティを感じさせる、深い山中に点在する寺院、早朝から響きわたる読経の声、落ち着いたまち並みなど。(七〇字)

解説

本文では、京都と比較して高野山の魅力が述べられており、その魅力は「生活空間として異日常を感じられる」ことと「外国人にはジャパニアリティを感じられる」ことであることが理解できます。そして、このような高野山の魅力は、具体的には「深い山中に点在する寺院、早朝から響きわたる読経の声、落ち着いたまち並みなど」であることがわかりますので、これらを含めて解答を作ります。

解答のポイント

- ① 「外国人に生活空間としての異日常やジャパニアリティを感じさせる」ことを述べている。
- ② 「深い山中に点在する寺院、早朝から響きわたる読経の声、落ち着いたまち並みなど」を「宝」の例として示している。

〔問題2〕

解答例

「おもてなし」精神を強調して、過剰に「お客様扱い」するのではなく、

ごく自然に人に対して気を遣うこと。

解説

本文では、「よそゆきの『おもてなし』と「人を気遣う心」が対比されています。ここで、「これまでの日本流のやり方」とは、「人を気遣う心」と関係するものです。そこで、「のではなく」の前で、筆者が批判している「よそゆきの『おもてなし』」について説明し、「のではなく」の後で、筆者の主張する「人を気遣う心」について説明します。問題には「解答らんに合わせて」とありますので、きちんとつながるように気をつけて解答しましょう。

## 解答のポイント

- ①前半では、筆者の批判する「よそゆきの『おもてなし』」について述べている。
- 『『おもてなし』精神を強調する』ことが述べられている。
- 「(来客に対して) 過剰に『お客様扱い』する」ことが述べられている。
- ②後半で、「人を気遣う心」について述べている。
- 「自然に人に対して気を遣う」ことが説明されている。

## 「問題3」

### 解答例

私は、外国人と一緒に地域のお祭りの準備や片づけを手伝うことで、日本の魅力を感じてもらいたいと考えます。お祭りに行くだけでも日本の魅力は感じられると思いますが、準備や片づけに参加することで、「お客さん」では味わえない人々のお祭りへの想いや熱意、人と人の心のつながりを感じることができると思うからです。

私の町では、夏に小さなお祭りが行われます。外からお客さんがくるようなものではありません。それでも、町の人たちがより楽しめるように、役員の大人たちは「おはやし」のルートやおみこしの数などを真剣に話し合います。子どもの私は、その話し合いを横で見ただけでしたが、大人たちの熱い思いをはだで感じることができました。また、準備や片づけの時は、友達と遊んでいたら普段話をしないおじさんに怒鳴られたり、頑張っていたら初めて会ったおばさんにほめられたりして、地域の人がまるで家族のように感じられました。

大きなお祭りを見に行ったこともあります。どれほど大きなお祭りを見てもこのような経験をしたことはありません。だから私は、日本の魅力を感じてもらおうにはお祭りの準備や片づけの手伝いが有効だと考えます。